

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年7月12日(2007.7.12)

【公開番号】特開2005-341291(P2005-341291A)

【公開日】平成17年12月8日(2005.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2005-048

【出願番号】特願2004-158027(P2004-158027)

【国際特許分類】

H 04 L 12/56 (2006.01)

H 04 N 7/173 (2006.01)

【F I】

H 04 L 12/56 2 3 0 Z

H 04 L 12/56 2 6 0 Z

H 04 N 7/173 6 1 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

入力されたデータを分割してクライアントに送信する配信装置であつて、
前記クライアントを、複数のグループにそれぞれ割り振る割り振り手段と、
前記分割されたデータの生成に応じて、前記分割されたデータをそれぞれ異なるタイミングにより、前記各グループのクライアントに送信する送信手段と、
を具備することを特徴とする配信装置。

【請求項2】

前記割り振り手段は、前記クライアントの数の増減に応じて、前記グループの数を変更することを特徴とする請求項1に記載の配信装置。

【請求項3】

前記割り振り手段は、前記クライアントの数の増減に応じて、前記クライアントの前記複数のグループに対する所属を変更することを特徴とする請求項2に記載の配信装置。

【請求項4】

前記割り振り手段は、前記グループの分割の変更に応じて、前記クライアントに関する情報を変更することを特徴とする請求項2に記載の配信装置。

【請求項5】

前記データは、音声データであることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の配信装置。

【請求項6】

入力されたデータを分割してクライアントに送信する配信装置の処理方法であつて、
前記クライアントを、複数のグループにそれぞれ割り振る割り振り工程と、
前記分割されたデータの生成に応じて、前記分割されたデータをそれぞれ異なるタイミングにより、前記各グループのクライアントに送信する送信工程と、
を具備することを特徴とする配信装置の処理方法。

【請求項7】

前記割り振り工程では、前記クライアントの数の増減に応じて、前記グループの数を変

更することを特徴とする請求項6に記載の配信装置の処理方法。

【請求項 8】

前記割り振り工程では、前記クライアントの数の増減に応じて、前記クライアントの前記複数のグループに対する所属を変更することを特徴とする請求項7に記載の配信装置の処理方法。

【請求項 9】

前記割り振り工程では、前記グループの分割の変更に応じて、前記クライアントに関する情報を変更することを特徴とする請求項7に記載の配信装置の処理方法。

【請求項 10】

前記データは、音声データであることを特徴とする請求項6乃至9のいずれか1項に記載の配信装置の処理方法。

【請求項 11】

請求項6乃至10のいずれか1項に記載の処理方法をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 12】

請求項11に記載のプログラムをコンピュータが読み取り可能に記憶したことを特徴とする記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】配信装置及びその処理方法及びプログラム及び記憶媒体

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

上述した課題を解決し、目的を達成するために、本発明に係わる配信装置は、入力されたデータを分割してクライアントに送信する配信装置であって、前記クライアントを、複数のグループにそれぞれ割り振る割り振り手段と、前記分割されたデータの生成に応じて、前記分割されたデータをそれぞれ異なるタイミングにより、前記各グループのクライアントに送信する送信手段と、を具備することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

また、この発明に係わる配信装置において、前記割り振り手段は、前記クライアントの数の増減に応じて、前記グループの数を変更することを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

また、この発明に係わる配信装置において、前記割り振り手段は、前記クライアントの数の増減に応じて、前記クライアントの前記複数のグループに対する所属を変更すること

を特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

また、この発明に係わる配信装置において、前記割り振り手段は、前記グループの分割の変更に応じて、前記クライアントに関する情報を変更することを特徴とする。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

また、この発明に係わる配信装置において、前記データは、音声データであることを特徴とする。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

また、本発明に係わる配信装置の処理方法は、入力されたデータを分割してクライアントに送信する配信装置の処理方法であって、前記クライアントを、複数のグループにそれぞれ割り振る割り振り工程と、前記分割されたデータの生成に応じて、前記分割されたデータをそれぞれ異なるタイミングにより、前記各グループのクライアントに送信する送信工程と、を具備することを特徴とする。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

また、この発明に係わる配信装置の処理方法において、前記割り振り工程では、前記クライアントの数の増減に応じて、前記グループの数を変更することを特徴とする。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

また、この発明に係わる配信装置の処理方法において、前記割り振り工程では、前記クライアントの数の増減に応じて、前記クライアントの前記複数のグループに対する所属を変更することを特徴とする。

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 6】

また、この発明に係わる配信装置の処理方法において、前記割り振り工程では、前記グループの分割の変更に応じて、前記クライアントに関する情報を変更することを特徴とする。

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 7】

また、この発明に係わる配信装置の処理方法において、前記データは、音声データであることを特徴とする。

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 8】

また、本発明に係わるプログラムは、上記の処理方法をコンピュータに実行させることを特徴とする。

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 9】

また、本発明に係わる記憶媒体は、のプログラムをコンピュータが読み取り可能に記憶したことを特徴とする。